

報道機関各位

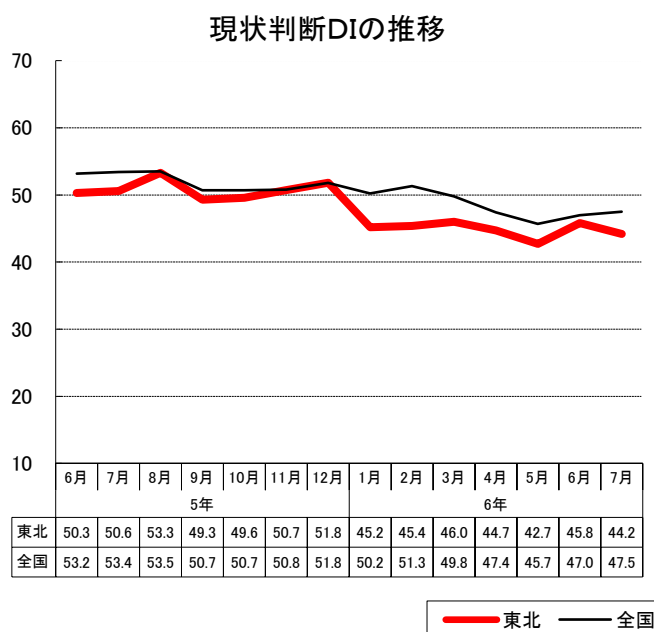
公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和6年7月 東北分
(東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和6年7月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

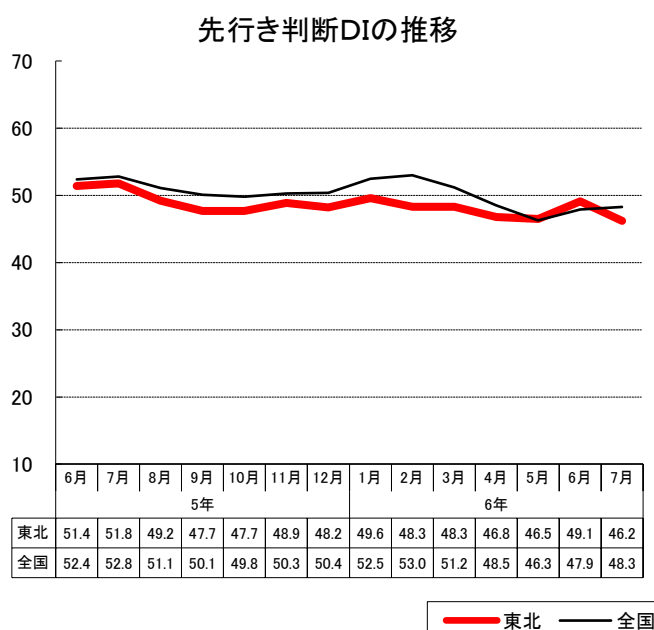
（1）現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「44.2」と2 か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲1.6 ポイント低下した。



（2）先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

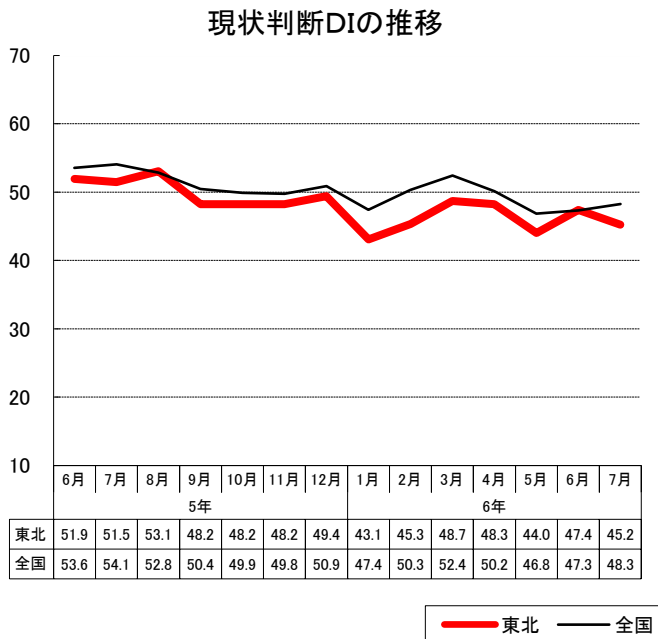
先行き判断 DI は「46.2」と2 か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲2.9 ポイント低下した。



2. 原数値

(1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断 DI は「45.2」と2 か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲2.2 ポイント低下した。



○家計動向関連…一般小売店、商店街、家電量販店等の業種で DI が前月を上回ったが、コンビニ、百貨店、衣料品専門店等の業種で DI が前月を下回った。

DI は「44.1」(▲2.6)と、2 か月ぶりで前月を下回った。

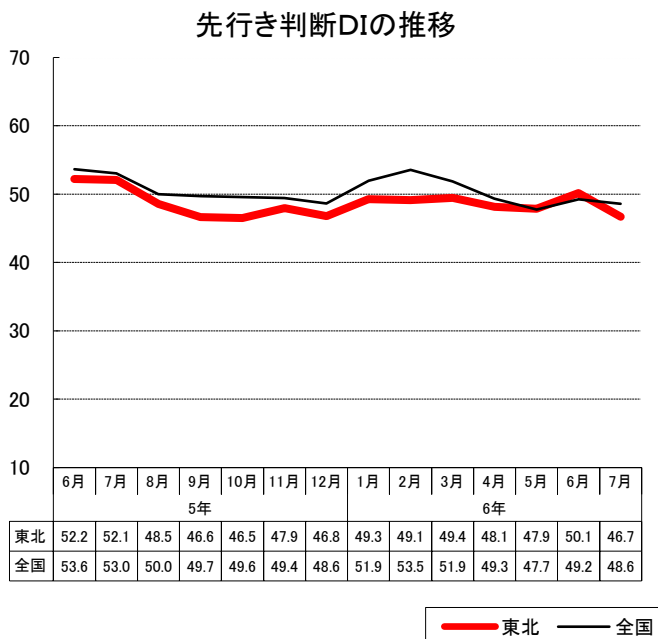
○企業動向関連…コピーサービス業、食料品製造業の業種で DI が前月を下回ったが、農林水産業、その他非製造業[飲食料品卸売業]、建設業の業種で DI が前月を上回った。

DI は「50.6」(+0.6)と、2 か月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DI は「41.3」(▲5.0)と、2 か月ぶりで前月を下回った。

(2) 先行き判断 (2～3か月先の見通し、方向性)

先行き判断 DI は「46.7」と2 か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲3.4 ポイント低下した。



○家計動向関連…一般小売店、都市型ホテル、衣料品専門店等の業種で DI が前月を上回ったが、旅行代理店、コンビニ、その他小売[ショッピングセンター]等の業種で DI が前月を下回った。

DI は「46.5」(▲3.3)と、2 か月ぶりで前月を下回った。

○企業動向関連…一般機械器具製造業、通信業の業種で DI が前月を上回ったが、建設業、金融業、輸送業等の業種で DI が前月を下回った。

DI は「50.6」(▲3.9)と、3 か月ぶりで前月を下回った。

○雇用関連…DI は「40.0」(▲3.8)と、前月を下回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（１）現状判断（方向性）D I

	5年							6年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北現状	51.9	51.5	53.1	48.2	48.2	48.2	49.4	43.1	45.3	48.7	48.3	44.0	47.4	45.2
家計動向関連	50.7	52.5	54.3	48.7	48.1	49.3	50.7	42.4	43.5	48.9	47.2	42.7	46.7	44.1
企業動向関連	52.7	48.6	54.7	50.7	48.6	45.1	49.3	45.1	50.0	48.6	50.0	48.1	50.0	50.6
雇用関連(参考)	57.9	51.3	42.1	40.8	48.7	47.4	42.1	43.4	47.4	47.5	51.3	43.8	46.3	41.3

（２）先行き判断D I

	5年							6年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北先行き	52.2	52.1	48.5	46.6	46.5	47.9	46.8	49.3	49.1	49.4	48.1	47.9	50.1	46.7
家計動向関連	51.5	50.9	49.1	46.9	46.6	47.4	45.4	49.1	50.0	48.7	48.0	47.0	49.8	46.5
企業動向関連	52.7	56.1	48.0	45.3	48.6	46.5	50.0	50.7	47.9	53.5	50.7	52.6	54.5	50.6
雇用関連(参考)	55.3	51.3	46.1	47.4	42.1	53.9	48.7	47.4	46.1	46.3	43.8	43.8	43.8	40.0

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和6年7月25日～31日

回答者数 173/189 名、回答率 91.5%（全国 1,835/2,050 名、89.5%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

＜別 紙＞

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「良くなっている」

（商店街）…商店街に隣接して大型商業施設がオープンしたことで、来街者数が前年比３倍となり、商店街ににぎわいが戻っている。

（農林水産業）…暑い日が続き桃の需要が高まっている。適度に雨も降り、糖度、大きさ共に申し分ない。需要と供給のバランスが取れて良い状況である。

○「やや良くなっている」

（一般小売店[酒]）…梅雨明け前から猛暑が続いたことで、飲食店への販売量が増加している。外食を控えていた消費者も涼を求めて飲食店を利用する傾向がみられる。また、コロナ禍以降、自粛傾向にあった自治会や町内会、企業が開催するビアガーデン等の注文も、今年は大きく増加している。

（食料品製造業）…飲食店は好調が継続している。お中元ギフトは百貨店で苦戦しているが通販の伸長等により前年を上回っている。気温上昇とともに土産品は常温品の購買にシフトしている。

（建設業）…大口工事の受注があり、売上は増加している。

（その他非製造業[飲食品卸売業]）…暑くなったため飲料の動きが良くなっている。受注量、販売量共に前年をやや上回っている。

○「変わらない」

（百貨店）…前年と比べ来客数は伸びているが、販売点数は伸びていない。必要最低限しか購入しない買い控えの傾向は継続している。

（家電量販店）…エアコン等の季節商材は好調だが、テレビやパソコンは単価が下がっている。猛暑になれば前年割れしていたとみている。

（住関連専門店）…受注生産をしている。受注量の減少が続いているため、生産量、販売量が落ちている。

（その他専門店[ガソリンスタンド]）…販売量の減少が止まらない。燃料油価格激変緩和補助金の適用はあるものの高値が続いていることに加えて、天候不順のため夏休み需要に動きがない。

（その他小売[ショッピングセンター]）…レジ通過客数は前年比 99.1%である。飲食やフード業種における来客数を４月の前年比と比べると２%減少している。ファッション業種も７%減少している。生活に直結する業種にまで下降傾向がみられる。

（都市型ホテル）…インバウンドがオフシーズンに入っている。

（旅行代理店）…猛暑の影響か夏季期間の宿泊販売が伸び悩んでいる。年間で最も販売ボリュームの大きい８月に開催されるパリオリンピックも、宿泊需要に水を差す原因の１つになっている。

（通信会社）…来客数は増加している。売上は多少増加しているが大きな伸びはない。

（設計事務所）…建設資材価格の高騰や４週８休の義務化の影響で建設工事費が高騰しているにもかかわらず、民間からの仕事の依頼が増えている。

(その他住宅[リフォーム])…住宅設備機器はエアコンの売行きが好調である。省エネ型給湯器の補助金を活用した交換も増えている。リフォームは補助金を活用した設備改善工事とエアコンクリーニングが増えている。猛暑の影響で屋外工事は減っている。

○「やや悪くなっている」

- (コンビニ)…気温の上昇とともに売上は上がってきたが、経費の高騰が利益を圧迫している。光熱費の値上がりもかなり厳しい。人手も足りず疲弊している。
- (衣料品専門店)…セール開催中であるが消費意欲を感じない。
- (一般レストラン)…来客数が前年の7割程度に落ち込んでいる。
- (観光名所)…売上は横ばいで推移していたが、月末に発生した水害で被害を受けている。インフラが復旧しない限り客は来ない。
- (競艇場)…来客数は減っていないが、客単価は下がっている。
- (美容室)…施術単価が前年比97%で推移している。客は極力不要な美容施術を避けている。
- (コピーサービス業)…取引先1社が破産し売掛金が回収不能となっている。
- (人材派遣会社)…求職者数の前年比成長率がマイナス領域で推移しており、3か月前と比較しても悪化傾向にある。
- (新聞社[求人広告])…広告の取扱高は前年を割る状態が続いている。求人広告も介護職など特定の人手不足業種に偏っており、幅広い業種で採用が活発化しているとはいえない。
- (職業安定所)…新規求人数、有効求人数共に減少している。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

- (一般小売店[医薬品])…8月以降、祭りやイベントなどが数多く開催される。悪天候にならないければ、夜の繁華街に人が流れてくることが期待できる。
- (百貨店)…ファッション、化粧品の新規店舗オープンを秋に控えており、既存の顧客層に加えて若年層の来客数が増加し、売上も増加するとみている。
- (衣料品専門店)…海外旅行や国内旅行、会社の行事などが秋以降に再開するという話を客から聞くので、服を購入する機会が増えるかとみている。
- (都市型ホテル)…東北地域は紅葉が見頃の良い季節になるため、インバウンドが多くなるとみている。
- (通信業)…自治体などの今年度補正予算の各種補助金を利用したい所からの引き合いが見込める。
- (民間職業紹介機関)…企業から人材が欲しいとの問合せが増えている。

○「変わらない」

- (コンビニ)…徐々に値上げの影響が出ている。消費者は小売店を使い分けており、価格の安い店舗やセール実施店を買い回っている。ガソリン価格の上昇も著しく、景気が上向く要素が全く見当たらない。
- (観光型旅館)…良くなる要素が見当たらない。秋のシーズンは団体旅行客が増えるものの、単価は個人客より低い。ただし、インバウンドの拡大次第では良くなる可能性はある。
- (一般機械器具製造業)…見込み情報や見積案件数から、多少回復の兆しがみえる。

(建設業) …関係する取引先ほぼ全てが限界に近い状況でやりくりしていることから、3か月先も良い状況ではあるものの現状維持とみている。

(金融業) …当県の経済においては、為替や株価に大きな変動がなければ現状維持が続くとみている。ただし、気候変動の影響による1次産業の生産動向には留意が必要である。

(人材派遣会社) …業績が好調に推移している企業もあるが、製造業などを中心に求人の動きは鈍く、先を見通せない状況が続いている。原材料価格の高騰によりビジネスモデルの変更を余儀なくされるケースもあり、特に中小企業にとっては予断を許さない状況が続いている。

○「やや悪くなる」

(家電量販店) …新築需要は減少傾向にあり、売上が伸びる商品も見当たらない。先行きが不安である。

(その他小売[ショッピングセンター]) …以前は高価なブランドウナギの需要があった土用の丑の日も、低価格商品が人気となり節約志向の高まりがみられる。この先年末までを見通しても節約志向が続く懸念がある。

(旅行代理店) …物価高の影響による消費控え、人手不足による販売量の低下が懸念される。

(輸送業) …月末に東北の一部地域を襲った大雨が、今後東北地域の景気に大きな影響が及ぼすとみている。

○「悪くなる」

(観光名所) …月末に発生した水害により、当地までの交通網が寸断されている。8月から会社は営業を再開するが、客の入込は読めない。また、報道等による風評被害も気になるところである。コロナ禍や震災の頃と同じような景気に戻るとみている。

(農林水産業) …耕作面積の拡大に伴い、設備を更新する必要性に迫られているが、米穀の乾燥調整設備の価格が高騰しており、設備投資したくてもできない状況にある。

(職業安定所) …物価高騰に改善がみられないことと、最低賃金が50円アップすることによる人件費等の問題が発生するとみている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上